

広報

my hometown TOMIOKA 2013

とみおか

5

No.607

お知らせ
富岡桜を回遊するため、
路側駐車ご遠慮ください。
ご迷惑をおかけいたします。
富岡市役所 富岡支所

主な目次 Contents

富岡桜のつどい2013	02~03
町立幼稚園、小中学校、富岡高校入学式	04~05
こんにちは、大玉診療所です！	09
とみおか桜通信	10~15
あなたの街から写真便り	20



富岡町桜の集い2013

毎年、富岡町に春の訪れを告げてきた夜の森の桜並木。桜のトンネルをくぐると誰もが自然と笑顔になり、桜から元氣と勇氣を与えてもらいました。故郷の桜は、町民そして町の誇りであり、避難生活が続く今も、私たちの心の支えとなっています。今回、故郷への想いを忘れず町民同士の結束を固めてもらおうと「富岡町桜の集い」が開催されました。

古里の春を求め、広野町に集結

「富岡町桜の集い2013」が4月20日、広野町中央体育館をメイン会場として開催されました。初めての開催となった今回のイベントには、両日合わせて約500人が参加。初日には、小渕優子財務副大臣も駆け付けました。開会式では、遠藤町長が「ふるさと富岡町の財産である夜の森の桜を見てもらい、町民の皆さんに元氣と夢と希望を持ってもらいたいとの想いから桜の集いを実施しました。それぞれの避難先から多くの皆さんが集合してくださり、こんなに嬉しいことはありません。これまで、桜と町民は共生し、町は桜と共に発展してきました。いつの日か、桜のトンネルの下で祭りを開催できるよう町民の皆さんと手を取り合い、平和な町づくりを目指してい

きたい。」と挨拶。引き続き、安倍晋三総理大臣から送られた祝辞が紹介されました。

会場では、富岡町婦人会の皆さんが調理した豚汁が振る舞われ、チーム富岡さくらYOSAKOIがパワフルな演舞を披露し、イベントを盛り上げました。

また、警戒区域の見直しに伴い、立入りが可能となった居住制限区域では観覧が実施され、参加者はシャトルバスに乗り富岡第二中学校前の桜のトンネルをくぐりました。残念ながら桜は散り葉桜の観賞となりましたが、参加された皆さんは久しぶりに古里の「春」を感じていました。

来場者インタビュー



平子さんご夫妻

桜はほとんど葉桜になっていましたが、桜並木を通して良かったです。ただ、鳥や虫の影響のせいなのか、震災前より桜の花が少なくなりました事が心配です。



左から星野さん、遠藤さん、小松さん、佐藤さん

今日は、知り合いに会えることを楽しみに来ました。今後も、このようなイベントがあると良いと思います。



坂本良さん

避難生活が続き富岡町から離れていますが、ふるさとの桜を忘れたことはありません。町民にとって富岡の桜は宝物だと思います。



新チームでの活動をスタートした福岡一中バドミントン部

双葉地区教育構想の連携型
中高一貫教育として、現在は
猪苗代中学校に籍を置き選
手の育成や勉強を行って
いる福岡一中バドミントン
部の仮入学式が、4月5日、
福岡中学校三春校で行われ
ました。
今年度バドミントン部員
として入学するのは、男子
1人、女子4人で、吉田隆

世界で活躍するアスリートを目指して 福岡一中バドミントン部仮入学式

見校長が「常に向上心を持
ち、感謝の気持ち忘れ
ず練習に取り組んでくだ
さい。」と激励。新入生を代
表し、水井ひらりさんが「富
岡と猪苗代、二つの校名と
2倍の応援を背に、福岡へ
戻れる日まで明るく前向き
に頑張りたいです。」と誓い
の言葉を述べました。

同バドミントン部は、震
災後約2カ月のブランクを
経て活動を再開。生活環境
が変わり、練習量は減って
しまったものの、同じく猪
苗代高校内サテライト校に
籍を置く福岡高校バドミン
トン部とともに練習に励み、
全国中学校体育大会では、
震災後男女揃って2連覇を
達成するなど、困難に打ち
勝つ成績を残しています。
5人の新入生は、式に出
席した先輩たちとともに、
さらなる精進と今後の活躍
を誓い合っていました。



小中学生が一堂に会した福岡第一・第二小学校、第一・第二中学校の合同入学式

自己表現力を伸ばし
大きく育ってほしい
福岡第一・第二小学校
第一・第二中学校

福岡第一・第二小学校と第
一・第二中学校の合同入学式
が同校三春校で行われ、小学
生3人、中学生7人が新しい
学校生活をスタートさせまし
た。

在校生や保護者らに拍手で
迎えられた新入生は、緊張の
面持ちで式に臨み、一人ひと
りが呼名を受けたあと、4校
を代表して福岡一小の新井
川美千枝校長が「小学校では、
勉強はもちろん友達たちとい
ろんな体験をすることで、心
も体も大きく育ってほしい。
また、中学校では勉強にも力
が入りますが、それ以外にも
たくさんのことを学び取り、

それぞれの希望を胸に 晴れの入園・入学式

町立福岡幼稚園の入園式、福岡第一・第二小学校、第一・第二中学校、
県立福岡高等学校の入学式が4月8日に挙行されました。

自己表現力を伸ばしてくださ
い。」と式辞を述べました。
続いて富一小6年の宝槻さ
くらさんが「何か困ったこと
があったら、何でも相談して
ください。一緒に仲良く頑張
りましょう。」と、また富二中
3年の佐藤果菜さんが「この
学校では、ここでしか学べな
いことがたくさんあります。
一中二中の枠を越え、みんな
で力を合わせて充実した中学
校生活を送りましょう。」とそ
れぞれ歓迎のことばを贈り、
新入児童・生徒を代表し、富
二中1年の持館すみれさんが
「お世話になった皆さんへの
感謝の気持ちを忘れずに、仲
間を思いやり協力しながら、
たくさん思い出を作りたい
です。」と誓いの言葉を述べま
した。

家族の笑顔が
子どもたちの大きな力に
福岡幼稚園入園式

福岡幼稚園の入園式は、三
春町の同幼稚園舎で行われま
した。
今年度の園児数は新入園児
5人を含む12人で、初めに担
任から一人ひとりの名前が呼
ばれ、子どもたちは元気の良
い返事で応えました。

次に、新井川美千枝園長が
「幼稚園はとても楽しいこと
ろです。友だちと仲良く元氣
に生活してください。」とあい
さつ。アンパンマンの人形を
手に語りかける新井川園長の
話、園児たちは目を輝かせ
ながら聞き入っていました。
また、関本征司町教育委員
長が「大変な状況はまだ続き
ますが、ご家族の笑顔が子ど

一瞬一瞬を充実させ、自分の夢を追いかけて 福島県立福岡高等学校

福岡高等学校の入学式は福
島県文化センターで行われ、
国際・スポーツ科の新入生61
人が希望に満ちた高校生活を
スタートさせました。
式では、大和田修校長が「二
度と戻ることのない高校生活
を充実させ、明るくひたむき
にそれぞれの夢を追いかけ
てほしい。」と式辞を述べ、遠
藤町長が「富高生の頑張りは、
町民にとって元気の源になり

ます。清く明るく、優しい思
いやりを持ち、有意義な3年
間を過ごしてください。」と祝
辞を贈りました。
新入生代表の渡辺大樹君が
「多くの方々の支えに感謝し、
目標を達成できるよう高い志
をもって勉強とスポーツに励
みます。」と宣誓し、4カ所の
サテライト校に通う生徒たち
が心をひとつにして、これか
らの飛躍を誓い合いました。



もたちの大きな力になりま
す。皆さんで力を合わせ、楽
しい幼稚園生活を送ってくだ
さい。」と祝辞を述べ、子ども
たちの入園を祝いました。
最後に全員で「幸せなら手
をたたこう」を合唱し、出席
した保護者の皆さんは、元氣
いっぱいに歌う園児たちの姿
を笑顔で見守っていました。



園長先生の話聞く福岡幼稚園の園児たち



心をひとつに式に臨む福岡高等学校の新入生



平成25年度の町税についてお知らせします

【軽自動車税】

軽自動車税は毎年4月1日現在の所有者に課税され、納税通知書は5月中旬に送付します。納期限は6月末日です。今年度の減免対象車両は左記のとおりです。

・原動機付自転車など車検を必要としない二輪車、農耕用車両等は全車減免となりますので、申請は不要です。

・四輪の軽自動車及び二輪の小型自動車については、平成25年4月1日時点で警戒区域に置いてある車両のみ減免となります。対象車両を所有されている場合は、

所得金額	減免割合
300万円以下	10/10
300万円超～400万円	9/10
400万円超～500万円	7.5/10
500万円超～750万円	5/10
750万円超～1,000万円	2.5/10
1,000万円	1/10

東日本大震災及び原子力災害の影響により減免となり、減免の割合は左記のとおりです。

富岡町役場郡山事務所及び、いわき・三春・大玉の各出張所で手続きを行ってください。期間は5月20日から6月29日までです。

【町県民税】

町県民税は、昨年の所得金額に応じて課税されます。納税通知書は6月中旬(企業特別徴収の場合は5月中旬)に発送します。

なお、平成25年度においても、東日本大震災及び原子力災害の影響により減免となり、減免の割合は左記のとおりです。

【固定資産税】

固定資産税は、平成24年度と同様となります。課税時期は平成25年8月です。

▼土地・家屋 課税免除(申請不要)

富岡町長選挙立候補予定者等説明会のお知らせ

任期満了による富岡町長選挙の立候補予定者等説明会を次のとおり開催します。

- ▼日時 5月31日(金) 午後1時30分
- ▼場所 富岡町役場郡山事務所 二階会議室

▼出席者の範囲

立候補予定者及び選挙運動従事予定者。但し、選挙運動従事予定者は、立候補予定者1名につき2名以内。 ※告示日、投票日時については、決定次第お知らせします。

【総務課 総務係】

応急仮設住宅及び民間借上げ住宅の住み替えについて

現在、災害救助法による応急仮設住宅及び民間借上げ住宅の住み替えは、就労・就学等の理由に限り一度は認められていますが、今後次の場合のみ、住み替えが認められます。

▼償却資産 一部を除き免除(申請不要) ※償却資産のうち、移動性償却資産、総務大臣・知事配分償却資産については減免申請が必要となります。

【国民健康保険税】

国民健康保険税は、昨年に引き続き全額減免となります。減免額が決定次第、減免決定通知書を送付します。

●納付方法

- ・納付書払い
- ・最寄りのコンビニエンスストア、町指定金融機関(納付書裏面に記載)、役場郡山事務所及び各出張所
- ・口座振替
- ・口座登録している方(新たに口座登録する方は、取引先金融機関での手続きが必要です。)

●過年度の未納がある方

過年度の町税に未納がある方全員に「未納明細書」を順次発送しております。納付相談は随時行っておりますので、税務課までご相談ください。

【税務課】

1 貸主都合による住み替え

- ・入居者に落ち度が無く、貸主都合により退去しなくてはならない場合
- (例)老朽化等により住宅を取り壊す場合や貸主が変わったことにより退去を求められた場合など。

2 遠方から地元方面への住み替え

- ・県外から県内へ戻る場合。
- ・就学・就労により現在の避難先から地元方面に戻る場合。
- ※転勤による住み替えの場合は、ご相談ください。

3 やむを得ないと判断された事情(事情を証明する書類が必要)

- ① 病気・けがの場合
- ・2階以上に居住している避難者が疾病などにより階段の昇降が不可能になった。
- ・精神疾患を患い、医師から住み替えの必要性を求められた。

② 事件・事故の場合

- ・ストーカーなどに住居を判断され、危険が迫っている場合。
- ・隣人トラブルにより、隣人から暴力を受けた、あるいは

▼償却資産

一部を除き免除(申請不要) ※償却資産のうち、移動性償却資産、総務大臣・知事配分償却資産については減免申請が必要となります。

【国民健康保険税】

国民健康保険税は、昨年に引き続き全額減免となります。減免額が決定次第、減免決定通知書を送付します。

●納付方法

- ・納付書払い
- ・最寄りのコンビニエンスストア、町指定金融機関(納付書裏面に記載)、役場郡山事務所及び各出張所
- ・口座振替
- ・口座登録している方(新たに口座登録する方は、取引先金融機関での手続きが必要です。)

●過年度の未納がある方

過年度の町税に未納がある方全員に「未納明細書」を順次発送しております。納付相談は随時行っておりますので、税務課までご相談ください。

【税務課】

は受けようになつた場合。

【生活支援課 住宅支援係】

【福島県避難者支援係】

☎024-521-8306

【福島県建築指導課】

☎024-521-5764

【自宅のいじや がれきの取扱】

富岡町内のご自宅等の片付けで発生したごみや、廃棄せざるを得なくなった家財類、損壊した家屋・塀などの破片は、町から案内があるまで各家庭での一時保管をお願いいたします。

なお、一時保管の際は、ごみの種類ごとに分別してください。詳しい分別方法につきましては、3月15日に配布いたしました「富岡町への立入りのしおり」17ページ「4. ごみの取り扱いについて」をご覧ください。

現在、環境省が仮置場等の調整を行っております。皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【生活環境課 環境衛生係】

現在、環境省が仮置場等の調整を行っております。皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

試験のお知らせ

町では、平成26年度の職員採用候補者(大学卒業程度、短大卒業・高専卒業程度、資格免許職)の試験を次のとおり行いますので、受験を希望される方は、申込受付期限内に富岡町役場総務課へお申し込みください。

1 試験区分、採用予定人員及び受験資格

試験区分	採用予定人員	受験資格
行政	若干名	昭和59年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)
土木	若干名	昭和49年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)

(2)短大卒業・高専卒業程度

試験区分	採用予定人員	受験資格
行政	若干名	平成2年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)
土木	若干名	平成2年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)

(3)資格免許職

試験区分	採用予定人員	受験資格
保健師	若干名	昭和49年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません) 保健師の資格・免許を有する者又は平成26年4月までに取得見込みの者

2 試験の方法

試験区分	試験の方法
短大卒業・高専卒業程度	行政 第一次試験 大学卒業程度による教養試験、専門試験 第二次試験 第一次試験合格者に対し、作文及び口述試験
大学卒業程度	行政 第一次試験 大学卒業程度による教養試験、専門試験 第二次試験 第一次試験合格者に対し、作文及び口述試験
土木	第一次試験 短大卒業・高専卒業程度による教養試験、専門試験 第二次試験 第一次試験合格者に対し、作文及び口述試験

資格免許職	保健師	試験の方法
保健師	第一次試験 第二次試験	短大卒業程度による教養試験、専門試験 第一次試験合格者に対し、作文及び口述試験

3 試験期日及び試験場

- (1) 第一次試験 平成25年7月28日(日) 試験場 福島大学
- (2) 第二次試験 平成25年10月頃 試験場 富岡町役場郡山事務所 郡山市大槻町字西ノ宮48-5

4 申込受付期間

平成25年5月30日(木)から平成25年6月28日(金)まで(ただし、土曜日及び日曜日を除く午前8時30分から午後5時15分まで)

5 申込手続

受験案内・受験申込書は、役場総務課で交付いたします。郵便により受験申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「〇〇試験申込」と朱書きし、420円切手を貼った返信用封筒(角2)を同封して送付してください。

【富岡町役場 総務課】

☎0120-33-6466

※職員採用候補者「高校卒業程度」等の試験については、広報6月号にて案内する予定です。

私たちのお医者さん

こんにちは。 大玉仮設診療所です！



第2回 「体重増加が生活習慣病ドミノのはじまり」 井坂 晶 医師(富岡中央医院)

脂肪が増えると、肝臓は脂肪肝となり、体の組織細胞は脂肪を蓄え、内臓脂肪が増えると、代謝が滞ります。動脈壁には脂肪が沈着し、血液循環は悪くなり、生活習慣病の始まり、始まり。検診で、最も多くチェックされるのが脂質代謝異常です。その中でも問題になるのが、動脈硬化指数(悪玉コレステロールLDL÷善玉コレステロールHDL、L/Hが2.0以下正常)が2.0以上になっていないかどうか。検診結果にはほとんど書いてありません。簡単なもので是非自分で計算してみてください。カロリーが多いと脂肪が蓄積し、動脈硬化があると血圧は上がる。そして分解できない糖分が血中にあふれてしまい糖尿病に。さらに肝障害、腎障害、神経障害、心不全、心筋梗塞、脳梗塞、痛風など、いろいろな病気へと進んでいきます。皆さんが管理できる簡単な目安、それは体重です。体重コントロールが鍵を握っています。しかし、それがなかなか難しいのです。

食べたら運動してカロリー消費。運動することで足腰の筋肉が鍛えられ有酸素運動を20分以上すると脂肪が燃焼します。足腰の痛い人、運動すると痛みがとれることもありません。運動するのです。廃用症候群にならないように頑張りましょう。

BMI / 標準体重計算方法

BMI(肥満指数) = 体重(Kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)
標準体重 = 身長(m) × 身長(m) × 22

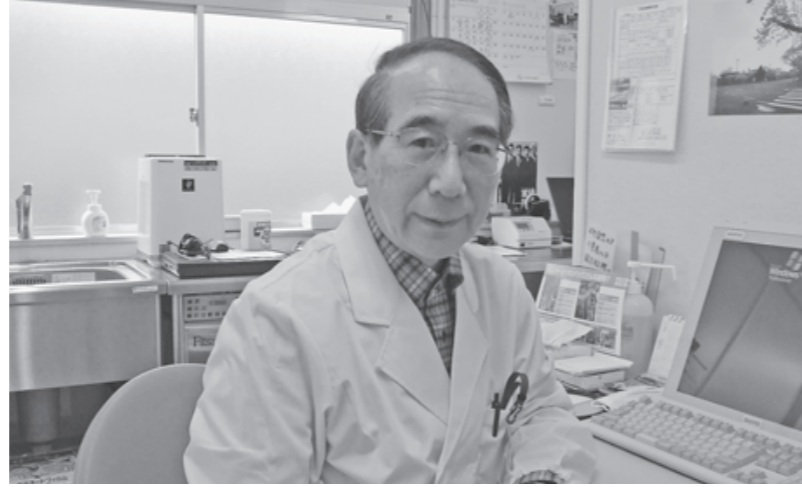
BMI	数値	判定
~18.5	やせ	
18.5~25	標準	
25~30	肥満	
30以上	高度肥満	

診療科目：内科・外科・歯科
診療場所：大玉仮設診療所
大玉村玉井字横堀平158-10
受付時間：午前8時30分～11時30分
午後1時～4時

診療日

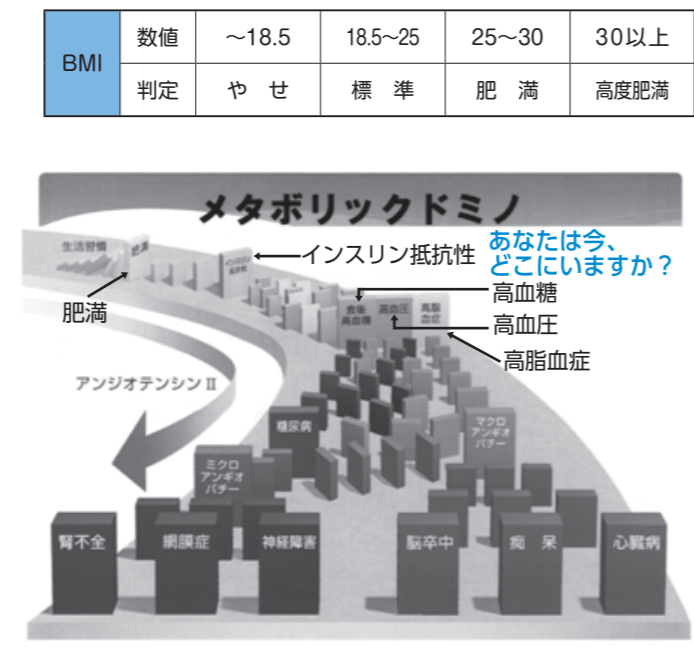
曜日	診療科目	担当医師	備考
月	内科・外科	佐藤正憲	午後3時まで
火	歯科	新妻 学	
水	歯科	新妻 学	
木	内科・外科	井坂 晶	
金	内科	堀川章仁	

☎ 0243-48-4710



こんにちは。木曜日の診療担当井坂晶です。避難生活も2年が過ぎ、診療所が出来て1年半。ビッグパレットふくしまで活動していた頃から、ボランティア医療班4人の先生と6人のスタッフ、皆さんに支えて頂き何とかやってきました。そんな中、今年の3月末に薬剤師の加藤先生が任期を終えて帰られてしまいました。長期処方はその場でお渡し出来なくなり、後日、薬局の方が直接配達する事になりましたので、よろしくお願いいたします。診療所は皆さんと共に、寄り添っていきたくと思っています。

さて、仮設住宅や借上げ住宅での生活は、狭くて息が詰まりそうになりますね。必然的に運動不足になってしまい、足腰が弱くなり、出歩くのもオククウになり、閉じこもりがちになってしまいます。運動をしないのに、食べたり飲んだり普通に行うと、どうなるでしょう？カロリーオーバーになり脂肪が蓄積するばかり。立派なおなかを抱えて幅最高。床の間に飾って置きますか？いえいえ、冗談は言っていないでください。



交通事故相談のお知らせ

県では、交通事故による損害賠償請求や示談の仕方などについて相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守しますのでお気軽にご相談ください。

平成25年度交通事故巡回相談日程

- ▶相談場所 福島県庁県民広聴室県政相談コーナー
福島市杉妻町2番16号
- ▶相談時間 月曜日～金曜日(祝日、年末年始は休み)
午前9時～正午・午後1時～4時
- ▶巡回相談(事前に予約が必要です)
 - ・交通事故相談員が出向いて相談を受けます。
 - ・相談を希望されるかたは、右記日程及び会場をご確認の上、事前に必ず予約を取り、指定された時間においでください。
 - ・予約は、原則として相談日の前日正午までです。
- ※予約が無い場合には、相談会は実施いたしませんので、ご注意ください。
- ▶予約受付先 福島県庁県民広聴室県政相談コーナー
☎024-521-4281

会場 月	福島県 郡山 合同庁舎	福島県 白河 合同庁舎	福島県 会津若松 合同庁舎	福島県 いわき 合同庁舎
5	14(火)	—	21(火)	28(火)
6	4(火)	18(火)	11(火)	25(火)
7	2(火)	—	9(火)	30(火)
8	6(火)	20(火)	13(火)	27(火)
9	3(火)	—	10(火)	26(木)
10	1(火)	22(火)	8(火)	29(火)
11	6(水)	—	12(火)	26(火)
12	3(火)	17(火)	10(火)	25(水)
1	7(火)	—	21(火)	28(火)
2	4(火)	18(火)	13(木)	25(火)
3	4(火)	—	11(火)	25(火)

☎ 福島県知事直轄県民広聴室
☎024-521-7013

富岡消防署からのお知らせ

消すまでは 心の警報 ONのまま

～平成25年度全国統一防火標語～

春を迎え暖かくなり、山へ入る機会も増えてくるのではないのでしょうか。この季節の山では、枯葉や枯草が多くなることに加えて、空気の乾燥などの気象条件により林野火災発生危険性が高くなります。

また、一度林野火災が発生してしまうと消火は困難を極め、火災が大規模化する恐れがあります。林野火災の出火原因は、タバコの投げ捨て、たき火、火入れの不始末などが半数以上を占めており、人為的要因がほとんどです。私たち一人ひとりが気を付け、林野火災の発生を少しでも減らしましょう。

林野火災防止の5つのポイント

- ① 枯草や枯葉などがある火災の起こりやすい場所では、たき火はしない。
- ② たき火や野焼きをするときは周囲にも知らせ、一人ではやらない。
- ③ 風が強い時や空気が乾燥しているときには、たき火や野焼きはしない。
- ④ たばこの火は必ず消して、絶対に投げ捨てない。
- ⑤ 火遊びはしない、させない。

以上の5点に注意して林野火災の防止にご協力をお願いいたします。



☎ 富岡消防署：☎0240-25-8563
☎ 榎葉分署：☎0240-25-2119

TOMIOKA

桜 通信

さくら

第13号

東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」では、避難生活を続ける皆さんのもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



原発事故による避難後、初めて富岡の地を踏んだのは、わずかその3日後のことでした。

茨城県東海村の親類宅に家族と身を寄せていた私の携帯電話へ、元請企業から連絡が入りました。「1F(イチエフ)福島第一(原発)に来てほしい」というものでしたが、当時、原発は爆発が連続していた頃で、その要請に即答はできませんでした。しかし、原発での仕事に生活を支えられている者として、非常に悩み、家族の反対もありましたが、要請に応える決断をし、国道6号線などを北



上しながら第一原発を目指しました。当時の原発構内はまさに戦場。建屋は爆発により大きく壊れ、瓦礫が散乱した状態で放射線量も高く、これが長年世話になった原発の姿なのかと目を疑うほどでした。一昨年3月15日〜18日まで滞在し、作業員の移動などの業務を行い避難先に戻りましたが、原発事故の収束作業の本格化に伴い、同年7月、従業員4人とともに再び第一原発に入り、ケーブルの敷設作業などにあたりました。

私は震災前より、会社経営(㈱大川工業所)の傍ら赤木行政区長をとめています。区内35世帯は北海道をはじめ全国各地へバラバラになってしまいました。避難開始当初は連絡も取れず、全世帯と接触できたのは震災発生から約半年ほど経ってからでした。昨年11月には磐梯熱海温泉で避難後初めての総会を開催し、約半数の世帯が参加。1年半ぶりの再会となりました。

当行政区は農家が多く、避難により農業ができないことへの悩みなどを打ち明ける人が多かったと同時に、区民の皆さんの中には、農の心を少しでも忘れまいと、避難先の庭や近



まちな思い出



まちな思い出

所に畑を借りるなどして野菜作りをしたり、農作業のアルバイトに出たりしている方もいるようです。

昨年夏、私は経営している会社の社長の座を長男に譲りました。第一線を退いた私は、会長として後身の指導にあたっています。

私は約40年間、原発の建設や各種作業に関わる仕事に携わり、震災発生当時も従業員とともに第一原発構内で仕事をしていました。長年お世話になった原発の無残な姿に無気力な状態にすんなったこともありましたが、これからは事故収束の行方を見守りつつ、富岡の自宅や事務所に足を運びながら、しばらくはこの避難先で辛抱したいと思っています。

従業員ら十数名とともに福島第一原発構内で作業中に被災したが全員無事。幸い、家族も無事で、自宅や新築間もない同敷地内の事務所にはほとんど被害無し。当初、原発を信じ震災翌日の朝は避難せずにいたが、同日午後の爆発を受け避難を開始。県外の親族のもとを経て昨年10月よりいわき市内に移り、現在に至る。妻、長男夫婦とともに暮らす。

矢内 隆久 さん (中央・龍台寺副住職)

TOMIOKA 桜(さくら) 通信



町内が警戒区域に設定されてから、許可を得て毎月2回、当寺(龍台寺)に向かい供養や遺骨のお預かりを続けてきました。3月25日に行われた避難指示区域の見直し以降、当寺のある地域に出入りはできないようになりましたが、震災前と同じような供養が営める状態ではありません。当寺は、本堂をはじめとする建物、併設する墓地とともに、地震で大きな被害を受けました。また、放射能汚染により線量も高い状態です。

避難開始当初は檀信徒の皆さんと連絡も取れない状態でしたが、多くの方々が避難されたビッグパレットふくしまなどを訪れ、消息をつかむよう努める中、再会した皆さんより、ご先祖や避難中に亡くなられたご親族の供養をしたいとの要望が寄せられるようになりました。しかし、そうした場所がありません。困り果ててしまっている中、いわき市内の葬祭場「せきのホール」の社長さんに供養の場を貸していただけないかとお願いしたところ、ご快諾いただき、同ホールの一室をお借りして毎月一日(間)、法要を実施させていただいています。

震災以降、住職や檀信徒の皆さんと共に寺の今後について話し合ってきました。避難当初は原発の爆発が続き、50年以上続いた当寺の歴史も終わってしまうのかと覚悟したこともありましたが、人が立ち入れる地域になったことを受けて、寺と墓地の再建を進めることに決めました。今後、除染などり時間を要することになりますが、一つずつ前に進めていきたいと思います。

半谷 克弘 さん (下千里)

TOMIOKA 桜(さくら) 通信



約14年前、私は病気の後遺症により左半身に麻痺が残ってしまいました。自由が不自由になったという現実には絶望した日々もありました。しかし、元来、何かをしていないと気が済まない性格のため、動ける範囲で何か周りにも役に立てるようなことをしていこうと「思いやり駐車場利用制度」創設運動を制度化するために、富岡町の福島県身体がい害者福祉協会会員各位の協力を得て力を注いできました。この活動が実り、平成21年7月に福島県で制度化さ

れ、この制度により設置された駐車場を避難先で見ると、かつての日々が思い出されます。現在、私は福島県身体障がい者福祉協会で双葉支部長の役をお預かりしています。福島県ユニバーサルデザイン推進協議会副代表も務め、各種役職の業務をこなしながらの日々を送っています。障がいを持つ方から、様々な相談を受けていますが、未曾有の事態に現行制度が対応しきれていないのが現状です。震災後、思いやり駐車場の制度を採用する動きが全国で続いているため、時折、各県より制度採用のために先進例紹介の講師として呼ばれることがあります。そうした呼びかけにも積極的に応えるようにしています。

の番組から声がかかり、今年2月、参拝へのユニバーサルデザインを推進している伊勢神宮を訪ねる企画に参加し、出演しました。思いがけない話でしたが、実は10年前に伊勢神宮を訪れた際、砂利道が多い参道を移動することが困難で、途中で参拝をあきらめたことがありました。今回は、そのあたりの対策が施されており、負担なく回ることができました。また、今年より有意義なものになると同時に、1日も早い原発事故の収束と今後の生活の安定を祈願いたしました。障がい者になったこと、原発事故により故郷を追われたことも何かの縁ととらえ、自分なりにできることを続けていきたいと思っています。



院長・坂本敏行さん(柔道整復師の妻・文さんとともに)

震災発生から約3か月後の平成23年6月、当接骨院は「分院」として郡山市内で避難開業しました。私たちは平成13年4月、夜の森地区に開業して以来約10年間、たくさんの方の富岡町民の皆さんにご利用いただきてきました。私は川内村、妻は南相馬市の出身ですが、開業当初何も知らない私たちを温かく迎えてくれました。

原発事故による避難となり、南相馬市にある妻の実家や郡山市内の親類宅を経て、一昨年3月末には同市

浦庭園カントリークラブ(いわき市)で開催されたゴルフ大会に出場しました。富岡では、週2回町内のレッスンプロの指導を受けていましたが、中学1年生の3月、原発事故で避難となってしまったため指導も受けられず、練習もできない状態になってしまいました。三春町の仮設住宅に落ち着いてからは、郡山市内で開催されているレッスンに参加していました。

避難生活を始めた1年後、中学3年生になり進学先をどうするかということになりましたが、富岡高校に進んでゴルフを続けたいと両親に相談したところ、賛成してくれ、この春送り出してくれました。

現在、富岡高校はサテライト方式のため、所属する部活動ごと県内3カ所、県外1カ所に分散し開校しています。私の所属するゴルフ部とサッカー部は福島北高校にあります。また、入学後は家族と離れ寮生活をしています。

入学して1カ月が経ちました。まだまだ分からないこと、気づかされることの連続ですが、いつか富岡のゴルフコースでプレーできる日が来るのを待っています。

郡山では、多くの人が避難するビレッジパレットふくしまを訪ね、ボランティアで施術を行っていた接骨院を開業できる場所を探しました。そうした中、偶然にもビレッジパレットふくしまとJR線を挟んで反対側(東側)に空き物件が見つかり、当時、建設が進められていた郡山南一丁目急急仮設住宅も近いこともあって、開業の準備を進めました。

約100軒の接骨院がある郡山市内では競争も激しく、経営が成り立つのが不安もありましたが、開業にあたり多くの皆さんから励ましを頂戴し、同じように不自由な避難生活を続ける皆さんに少しでもお役に立てればとの思いで開業しました。現在は、富岡の時から通ってきてくださった患者さんや、口コミで評判を聞いた郡山の皆さんに支えられ、震災前のようにいきませんが、夫婦2人で続けています。

避難開始当初、友人から首都圏への避難を勧められたこともありましたが、子どもの健康や環境の変化による負担をできるだけかけたくなかったこと、また、少しでも早く仕



私がゴルフを始めたのは小学校3年生の時、ゴルフ好きの父の勧めによるものでした。といっても、最近よくありがちな半ば強制に近い「英才教育」のようなものではなく、遊びでクラブを振ってみるという程度のものでした。初めのうちは、練習場でボールを叩き飛んでいくのが面白い遊びそのものでしたが、そのうち、だんだんと興味が深くなり、父と一緒にコースに出るようになりました。中学生になると、いよいよ本気になり、1年生の時には、五

被災してもゴルフを続ける希望をあきらめることなく本校の門をたたきました。そのチャレンジ精神を大切に、将来に向けて伸ばしていきたいと思っています。まだまだ荒削りで「原石」の状態ですが、腰を据えてじっくりと指導を続け、光輝くダイヤモンドになれるよう本人とともに進んでいきたいと思っています。

(ゴルフ部指導者・栗西鈴香さん談)

浦庭園カントリークラブ(いわき市)で開催されたゴルフ大会に出場しました。富岡では、週2回町内のレッスンプロの指導を受けていましたが、中学1年生の3月、原発事故で避難となってしまったため指導も受けられず、練習もできない状態になってしまいました。三春町の仮設住宅に落ち着いてからは、郡山市内で開催されているレッスンに参加していました。

避難生活を始めた1年後、中学3年生になり進学先をどうするかということになりましたが、富岡高校に進んでゴルフを続けたいと両親に相談したところ、賛成してくれ、この春送り出してくれました。

現在、富岡高校はサテライト方式のため、所属する部活動ごと県内3カ所、県外1カ所に分散し開校しています。私の所属するゴルフ部とサッカー部は福島北高校にあります。また、入学後は家族と離れ寮生活をしています。

入学して1カ月が経ちました。まだまだ分からないこと、気づかされることの連続ですが、いつか富岡のゴルフコースでプレーできる日が来るのを待っています。

郡山では、多くの人が避難するビレッジパレットふくしまを訪ね、ボランティアで施術を行っていた接骨院を開業できる場所を探しました。そうした中、偶然にもビレッジパレットふくしまとJR線を挟んで反対側(東側)に空き物件が見つかり、当時、建設が進められていた郡山南一丁目急急仮設住宅も近いこともあって、開業の準備を進めました。

約100軒の接骨院がある郡山市内では競争も激しく、経営が成り立つのが不安もありましたが、開業にあたり多くの皆さんから励ましを頂戴し、同じように不自由な避難生活を続ける皆さんに少しでもお役に立てればとの思いで開業しました。現在は、富岡の時から通ってきてくださった患者さんや、口コミで評判を聞いた郡山の皆さんに支えられ、震災前のようにいきませんが、夫婦2人で続けています。

避難開始当初、友人から首都圏への避難を勧められたこともありましたが、子どもの健康や環境の変化による負担をできるだけかけたくなかったこと、また、少しでも早く仕



指導者・栗西鈴香さん(左)、同部先輩(右2名)とともに

ればいいなと思っています。今は、将来プロになることを目指して頑張る日々です。

被災してもゴルフを続ける希望をあきらめることなく本校の門をたたきました。そのチャレンジ精神を大切に、将来に向けて伸ばしていきたいと思っています。まだまだ荒削りで「原石」の状態ですが、腰を据えてじっくりと指導を続け、光輝くダイヤモンドになれるよう本人とともに進んでいきたいと思っています。

(ゴルフ部指導者・栗西鈴香さん談)



事を再開したかったこと、そして何より、同じように避難を続ける皆さんの近くにいたいことなどにより、縁あって落ち着いた郡山で再出発しようと決意しました。

間もなく分院の開業から2年になるうとしています。富岡の時のようにスタッフを雇ってという規模ではありませんが、しばらくの間、子育てをしつつ、この地に腰を据えていこうと思っています。

〒963-1010
郡山市安積町日出山3-292-13
電話 024(973)6877
(診療時間)
午前8時30分～正午
午後2時30分～午後7時
(休診日) 日曜日・祭日・土曜日午後

町民の孤立を防ぎ、生きがいを持って生活するために 郡山方部借り上げ住宅居住者会勉強会

郡山方部借り上げ住宅居住者会(坂本正男会長)の勉強会が、4月9日、郡山市の大槻公民館分室において行われました。

この勉強会は、様々な分野の学習を行いながら、同居住者会会員同士の交流を図る目的で開催されたもので、会員約40人が参加しました。

今回は、消防講習会、放射線講座、タブレット端末操作方法と、3つのテーマでの勉強会を行い、そのうち消防講習会では、富岡消防署員から消火器の使用方法やAEDを使用した救命救急法を学びました。起震車に乗って地震体験も行われ、いざという時の行動や心構えなどを再確認していました。

また、放射線講座では、東北放射化学センター理事の高久吉久氏が身近にある放射線の種類やその影響などについて実験を交えながら解りやすく説明し、参加者は放射線に対する知識を深めていました。

同居住者会では、避難先での町民の孤立を防ぎ、生きがいを持って生活してもらうために、今後も多様なイベントを開催する予定です。



AEDを使った救命救急講習



起震車による地震体験

郡山方部借り上げ住宅居住者会総会 開催のお知らせ

福島第一原発事故による避難生活も2年が過ぎました。3月25日からは、一部ではありますが富岡町内へ自由に出入りができるようになり、気持ちも少しずつ前を向くようになってきたのではないのでしょうか。

平成25年度郡山方部借り上げ住宅居住者会総会を、下記のとおり開催いたします。ふるってご参加くださるようご案内いたします。

1. 日 時 5月19日(日)午後2時
※会場の都合により、先日ご案内いたしました時間より変更となりました。
2. 会 場 郡山市「ビッグパレットふくしま」中会議室B
3. その他
 - ・欠席される方は、総会に一任願います。
 - ・平成25年度も継続加入される方は、会費(1世帯1,000円)を納入くださるようお願いいたします(総会時に徴収させていただきます)。なお、総会を欠席される方は、お手数ですが富岡町社会福祉協議会(おだがいさまセンター内)までご持参くださるようお願いいたします。
4. 問合せ先 郡山方部借り上げ住宅居住者会 会長 坂本正男(☎ 090-4881-6300)
事務局 猪狩弘二(☎ 090-5841-4986)

ソフトボールを通して宮崎と福島の子どもたちが交流 みやざきから東日本へ、感謝を届ける支援イベント

東日本大震災や原発事故の被災地にあるスポーツ少年団員で結成した「福島絆ソフトボールスポーツ少年団」が、3月23、24日の両日、宮崎県門川町を訪れ、地元のスポーツ少年団と試合などを通して交流を深めました。

この事業は、宮崎県門川町が口蹄疫や新燃岳噴火の際、全国各地から受けた支援の恩返しのため、宮崎県が創設した「みやざき感謝プロジェクト基金」を活用し実施されたもので、富岡町、川内村、田村市、いわき市のスポ少団員で構成されたメンバー19人が参加しました。

子どもたちは、男子ソフトボール日本代表選手らによる技術講習会に参加したあと、地元のスポ少チームと対戦。序盤は緊張気味だったものの、回を追うごとに自分たちの動きを取り戻し、元気いっぱいプレーしていました。



富岡町スポ少として参加した、前列左から小島大武君、坂本頼我君、坂本虎雅君、宍倉悠介君、富岡町スポ少の吉原朝男代表、後列はソフトボール日本代表メンバー

仲間同士の絆を深め合う 第1回富岡町体育協会杯ゲートボール交流大会



第1回富岡町体育協会杯ゲートボール交流大会が、3月27日、三春町沢石室内ゲートボール場で行われました。

大会には、避難先のいわき市や郡山市などから集まった富岡町民による5チームのほか、大会運営にご協力をいただいた地元の沢石地区からも5チームが出場し、ゲートボール愛好者同士の交流を深めました。

富岡町ゲートボール協会の大和田一郎会長は「震災以降、これだけの人数が一堂に会する大会は初めてで、以前富岡町で行っていた頃を思い出すと

涙が出てくる思いです。今回は地元の皆さんにも大変お世話になり、ゲートボール仲間としての絆を感じました。」と語られ、会場内には軽やかな打球音と共に、参加された皆さんの笑顔が溢れていました。



富岡と三春の交流を深めた参加者の皆さん

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日:平成25年4月10日~11日(晴れ/くもり)

No.	測定場所	地上1m	地上10cm
1	下千里消防屯所	3.40	5.60
2	上千里消防屯所	2.09	3.06
3	杉内消防屯所	2.55	4.02
4	第二工業団地入口	3.92	3.97
5	高津戸集会所	6.07	9.16
6	富岡第二中学校東側	2.22	2.49
7	新夜ノ森集会所	7.15	9.34
8	夜の森公園	3.43	6.70
9	松の前待避所	11.10	13.30
10	小良ヶ浜集会所	6.97	8.21
11	町境(小良ヶ浜地区)	8.56	10.90
12	深谷消防屯所	7.11	7.37
13	富岡町営野球場	1.26	0.93
14	観陽亭前	1.28	1.17
15	富岡合同庁舎西側	3.12	3.56
16	富岡養護学校	3.95	7.92
17	老人福祉センター	7.89	18.70
18	夜ノ森駅	7.12	9.24
19	王塚集会所	5.93	8.23
20	諏訪神社前	3.79	4.43
21	上本町消防屯所	3.96	4.68
22	上本町集会所	3.25	3.91
23	リベラルヒルズ入口	2.89	5.04
24	赤木集会所	2.16	4.78
25	上郡山集会所	1.99	2.47
26	太田集会所	1.20	1.83
27	原下消防屯所	1.40	2.18
28	富岡駅	0.95	2.04
29	清水消防屯所	2.43	3.96
30	役場	2.31	2.35
31	浄化センター	0.86	1.09
32	毛萱集会場	0.60	0.50
33	富岡保育所	2.57	3.90
34	中央児童館	2.83	4.79
35	栄町駐車場	2.21	3.14
36	岩井戸消防屯所	1.86	2.33

No.	測定場所	地上1m	地上10cm
37	小浜住宅団地内公園前	4.50	6.56
38	双葉環境センター	2.72	4.52
39	NHK電波塔入口(浜街道)	4.65	6.45
40	深谷集会所	6.36	7.77
41	赤坂神社前	7.37	9.29
42	太平洋フリーディング前	14.10	24.60
43	みよし前交差点	9.17	23.90
44	富岡自動車学校前	7.00	12.70
45	リフレ富岡	4.37	5.72
46	東洋育成園前	4.58	6.90
47	富岡インター駐車場	4.40	5.81
48	上手岡児童館	3.20	3.98
49	下千里ライスセンター前	3.51	5.40
50	館山荘前	4.00	5.94
51	夜の森つつみ公園	5.46	5.45
52	総合運動場東側駐車場	5.48	8.01
53	華の樹前	6.59	8.28
54	宝泉寺前	4.19	8.69
55	国道6号第二原発入口前	1.40	2.04
56	猪狩スタンド前	1.49	2.75
57	なべや駐車場前	1.52	3.35
58	大東銀行富岡支店前	2.83	3.86
59	富岡漁港	0.75	0.77
60	サンライズイン富岡前	1.20	1.97
61	福島富岡簡易裁判所前	2.98	5.62
62	ヨークベニマル富岡店前	2.74	3.80
63	今村病院前	5.35	10.30
64	福島銀行富岡支店前	2.48	4.87
65	龍台寺前	2.82	5.04
66	清水団地前	2.83	3.98
67	猪狩電気通信工業前	2.61	3.87
68	上郡消防屯所	2.50	3.72
69	岩井戸鉱泉	1.37	1.85
70	富岡工業団地	1.90	1.87
71	成沢の滝入口	1.58	2.47
72	沼名子橋	2.97	4.60

測定器:γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

避難先でスポーツに励む子どもたちへの支援継続を確認 第2回富岡町スポーツ少年団本部・指導者連絡協議会役員会

富岡町スポーツ少年団本部ならびに指導者協議会の役員会が、過日郡山市で行われました。

富岡町スポーツ少年団には、震災前まで15競技団体が加盟していましたが、現在も活動しているのは富岡町少年剣道団のみとなっています。しかし、避難先で活動を続けている団員も少なくないことから、同スポーツ少年団では定期的に役員会を開き、近況報告や情報交換を行っています。

会議では庄野富士男本部長が「スポーツ少年団は避難の影響でほとんど活動できていない状態だが、子どもたちがそれぞれの避難先で頑張っている様子を聞いて頼もしく思います。」とあいさつ。出席した各競技部の代表者は、スポーツをする子どもたちの受け皿になるよう、今後も活動を継続することを確認しました。



情報交換や近況について話し合いを行う指導者の皆さん

井坂 晶さん(富岡中央医院 院長) 加藤 優子さん(元 大玉仮設診療所薬剤師)へ富岡町から感謝状を贈呈



感謝状が贈られた井坂晶医師(写真上)と加藤優子さん

今年3月に双葉郡医師会の会長を退任された富岡中央医院院長の井坂晶医師並びに、同じく3月末で大玉村仮設診療所を退職された薬剤師の加藤優子さんへ、富岡町から感謝状が贈られました。

井坂医師は永年地域医療に従事され、震災後は、多くの富岡町民や川内村民が身を寄せたビッグパレットふくしまで避難者の診療にあたりられました。現在は大玉村安達太良応急仮設住宅敷地内の仮設診療所で、夜の森中央医院の堀川章仁医師、さくらクリニックの佐藤正憲医師、新妻歯科医院の新妻学歯科医師らと共に町民の健康維持のためにご尽力されています。

加藤さんは震災後、神奈川県薬剤師会からの派遣により、ビッグパレットふくしまを経て大玉仮設診療所に勤務され、ご自身も大玉村安達太良応急仮設住宅に住まわれながら、1年半にわたり町民に寄り添った医療活動を続けられました。

「小川諏訪神社のシダレザクラ」 撮影 西山 栄さん(小浜)



いわき市小川諏訪神社のシダレザクラは、いわき市指定の天然記念物です。樹齢は500年以上といわれており、ソメイヨシノより少し早く咲き始めます。

開花時期にはライトアップも行われ、市内外から多くの花見客が訪れます。

「町民の絆を繋ぎ、ふる里を思う」 栃木県 夜の森さくら会 花見会



栃木県に避難されている方々のコミュニティサークル「夜の森さくら会」(磯村福治会長)による花見の集いが、4月10日に宇都宮市で行われました。

同市の桜の名所である八幡山公園で散策を楽しんだあと、ボランティアセンター「ぼ・ぼ・ら」で意見交換会が行われ、磯村会長が「帰還のためには、医療機関やショッピングセンターなどの再開を同時に進めることが重要。希望を持ち、前向きに生活して行きましょう。」とあいさつ。他の参加者からも、ふる里復興に向けての要望や活発な意見が出されました。

今月の表紙：「希望の桜並木」

私たち町民の誇りであり心の拠り所である桜が、震災後3度目の開花を迎えました。全国の富岡町民に桜の様子を発信する報道各社に混ざり、桜との再会に訪れた町民の姿も見られました。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

